

暑い日が続きます。皆さんお変わりありませんか？8月は家族と一緒に過ごす機会が多い時期です。生活のリズムが普段と違うことで戸惑うこともあるでしょう。でも、せっかくの機会です、楽しい思い出をたくさん作りましょう。

### 【待つことが大切。でも本当に待つとは待つのを放棄すること】

この言葉は哲学者の鷲田清一氏が8年ほど前に、新聞のコラムに寄せたものです。当時大学生だった我が子に対しての関わり方で琴線に触れたのでしょうか。大切に保管し、色に変色しつつある今もときどき思い出して読み返します。

子どもたちが小さかった頃「待ちの子育て」という言葉を耳にしました（今も言われていますね）。子どものペースに合わせてあげたいけど仕事も家事もやるのがいっぱいあってなかなか出来ない・・・そんな自分に葛藤するお母さん、多いのではないのでしょうか？

時間的な余裕は工夫で作りに出すことも可能でしょう。では、気持ちの面ではどうでしょうか。情報があふれている現代、どうしても周りが気になってしまうのは、皆おなじですね。ひとりで靴が履けるようになった、トイレでウンチが出来るようになった、言葉をたくさん話すようになった・・・成長はその子のペースがあるはずなのに自分の思うように進まないと不安になってしまう。しかし、ひたすらに意識して待つと視野が狭くなり、待っていても来なければ腹がたってしまいます。

鷲田氏は続けます。「昔の母親は、子どもが反抗したら今は何をいってもしゃーないとあきらめ、手仕事などをするうちに待つことも忘れた。するといつの間にか関係が変わったり、他人の一言で新しい展開があったり。偶然を受け入れられるよう自分を開いておくことが大事なんです。」

待っていたことを忘れるくらいゆったり構えていきたいですね。

